

平成19年度教育研究業績書

氏名 足立広明

最終学歴	1990年3月同志社大学大学院文学研究科文化史学専攻博士後期過程単位取得退学			
取得学位	文学修士			
所属学会	文化史学会・日本西洋史学会・日本西洋古典学会・地中海学会・日本歴史学協会・日本オリエント学会・史学会（東京大学）・史学研究会・西洋史研究会・古代世界研究会・キリスト教史学会・日本ビザンツ学会・ジェンダー史学会・関学西洋史研究会			
現在の専門分野	西洋古代末期における文化変容			
研究課題	古代末期における女性聖人の社会的・文化的役割・古代末期におけるエスニシティの変容			
【研究上の特記事項】				
奈良大学助成・海外調査（トルコ）一回				
【教育上の特記事項】				
ギリシア語・ラテン語・ドイツ語などの講読会を学生と継続している。				
【社会的活動】				
文化史学会評議員・市民講座講演2回（JTB梅田、NHK京都）				
【学内活動】（学内職歴を含む）				
就職委員・空手道部顧問				
著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
（学術論文）				
古代末期のキリスト教巡礼の諸相	単	2007年3月	2007年「四国遍路と世界の巡礼」公開シンポジウム・研究集会 プロシーディングズ	下記公開シンポジウムのプロシーディングス。質疑応答で出た問題に回答する形でジェンダーとエスニシティについての見通しを加筆した
シフティング・フロンティアーズ ：海外学会参加 紀行	単	2007年3月	古代史年報（同志社大学）	2007年3月開催の古代末期専門の国際学会シフティング・フロンティアーズ第7回大会参加記
（学会発表）				
女性聖人伝と言語論的転回 - 古代末期における女性イメージとリアリティの関係性について	単	2007年6月	日本西洋古典学会第58回大会（於：青山学院大学）	女性聖人テクラの自立的伝承をめぐる言説と実態の検証。80年代フェミニスト研究者の肯定的意見とその後の言語論的転回による批判を踏まえた再考
アヤ・テクラ巡礼 - 女性巡礼エゲリアの足跡をたどって	単	2007年9月	四国遍路と世界の巡礼：合宿研究会（プレ・シンポジウム）	9月初旬に訪問したトルコ、アヤ・テクラ遺跡の紹介
古代末期のキリスト教巡礼の諸相	単	2007年12月	巡礼と救済 - 四国遍路と世界の巡礼：公開シンポジウム・研究集会・研究集会	古代末期地中海における巡礼の諸相を女性巡礼を中心に概観